

静岡県知事
鈴木 康友 様

要 望 書

2026年2月13日
多目的ドーム型スタジアム
建設促進期成同盟会

要 望 書

遠州灘海浜公園篠原地区への県営野球場建設について、浜松地域は長年、県に対し早期実現を要望してきました。

令和6年度策定の公園基本計画では、メイン野球場の規模・構造について、1.3万人の屋外型、2.2万人の屋外型、2.2万人の多目的ドーム型の3案が併記され、本期成同盟会としては多目的ドーム型が、自然環境に配慮しながら、天候に左右されず、幅広い用途への活用により高い稼働率が見込まれる望ましい案と考えております。

昨年には、県と市による遠州灘海浜公園（篠原地区）利活用推進協議会において、民間事業者からの利活用提案を広く求めるための公募が実施されたところですが、将来的には投資の可能性もあるとの意見もあったと伺っています。

昨今の物価や建築資材の価格高騰に伴う厳しい財政状況の中で、民間活力の活用は多目的ドーム型スタジアムの実現につながる極めて重要な要素となります。

知事もいかに民間投資を呼び込めるかが鍵と発言されておりますが、本期成同盟会としても民間投資の早期実現を望むところであり、一定の期限を設けた中で調査・検討していただきたいと考えております。

「多目的ドーム型スタジアム」の建設は交流人口の拡大や賑わいを創出し、浜松市域や県西部だけでなく、県全体の活性化や発展にもつながることから、次の事項を強く要望いたします。

記

1. 自然環境に配慮し、天候に左右されない多目的ドーム型スタジアムの建設を早期に実現すること
2. 野球以外の幅広いスポーツやイベントも開催が可能な仕様にする
こと
3. プロ野球も開催できる 22,000 人規模とすること
4. 民間投資の実現に向けて取り組むこと

2026年2月13日

多目的ドーム型スタジアム建設促進期成同盟会

会長 浜松市長

中野 祐介

副会長 浜松市議会議長

高林 修

副会長 浜松商工会議所会頭

斉藤 薫

副会長 浜松市自治会連合会長

廣野 篤男